千葉大学　高校生理科研究発表会　歴代講演者一覧

回	年	講演者氏名	所属組織名	身分	講演のテーマ
第14回（2020年）以降、時程の関係で、講演会は実施しておりません。					
13	2019	海宝龍夫	株式会社合同資源ヨウ素学会	技術顧問理事	ヨウ素の魅力とは？
		ウサレム・ハッサン	竹中工務店技術研究所		留学生から主要企業の研究者へ ～日本での継続的な学習と経験～
		佐藤ふたば	東京大学	理科Ｉ類　1年	未来につながる課題研究 ～千葉大学高校生理科研究発表会で踏み出した一歩～
12	2018	Wolfgang Brütting	Institute of Physics, University of Augsburg, Germany	Prof. Dr.	Organic semiconductors: From scientific curiosity to articles of daily use
		亀尾浩司	千葉大学大学院理学研究院	准教授	地球の歴史に「千葉時代」が記されるか―簡単なチバニアンの話―
		奥田宏志	芝浦工業大学	准教授	課題研究を通した理工系人材の育成について
11	2017	村本哲哉	東邦大学理学部	講師	課題研究で人生は変わる
		ヨサファット・テトォコ・スリ・スマンティヨ	千葉大学　環境リモートセンシング研究センター	教授	グローバル環境・地殻変動観測用先端合成開口レーダ搭載小型衛星の開発
		志賀裕樹	千葉県立佐倉高等学校	教諭	Intel ISEF 2017　視察報告
		長山定正	市川学園市川高等学校	教諭	ISEFから見えてくるサイエンスの潮流
10	2016	正宗エリザベス	株式会社@アジア・ アソシエイツ・ジャパン	代表取締役	Pathways to Global Citizenship
		白水正男	国立研究開発機構 宇宙航空研究開発機構	特任担当役	宇宙開発における私の経験と理科研究発表会で思ったこと
		中島哲人	市川学園市川高等学校	教諭	Intel ISEF 2016から見えてきた課題研究
		小原　稔	千葉市立千葉高等学校	教諭	A report about “intel ISEF 2016”
9	2015	橋爪清成	福島県立福島高等学校	教諭	課題研究をhappyに進めるために！？
		阿部　宏	埼玉県立川越高等学校	教諭	ＳＳＨが見る夢
		山本喜一	芝浦工業大学柏中学高等学校	講師	「Intel ISEF 2015」に参加して
		米谷貴信	千葉市立千葉高等学校	教諭	
8	2014	細谷紀子	東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター 放射線分子医学部門	講師	医学研究へのいざない ～ＤＮＡから生命現象・病気まで～
		中山秀幸	千葉県立幕張総合高等学校	教諭	「Intel ISEF 2014」視察に参加して
		浅野裕史	千葉県立佐原高等学校	教諭	
7	2013	鍵　裕之	東京大学大学院理学系研究科	教授	役に立つ研究と役に立たない研究
		橋本稔克	千葉県立長生高等学校	教諭	「Let’s　challenge the ISEF　アイセフを目指そう」 ～ ISEF2013　視察報告～
		北川輝洋	千葉県立千葉東高等学校	教諭	
6	2012	早水悠登	東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程	２年	理科研究との付き合い方
		飯島　章	千葉県立佐倉高等学校	教諭	「Students, Be Explorers. 研究者になって世界に羽ばたこう」～ISEF2012 視察報告～
		高石哲男	千葉県立東葛飾高等学校	教諭	
5	2011	中島　康	早稲田大学高等学院	教諭	Intel ISEF 2011 (Los Angeles)
		柴田恭幸	筑波大学大学院数理物質科学研究科博士後期課程	３年	高校生による理科研究の意義
4	2010	丸　幸弘	㈱リバネス	代表	研究者は世界で活躍できる！
		西田　惇	筑波大学理工学群	１年	筋電位計測システムの開発とその応用
3	2009	石井規雄	千葉県立船橋高等学校	教諭	国際生物学オリンピックが目指すもの
		堤　朝風	千葉県立柏中央高等学校	２年	ギ酸によるフェーリング液の還元反応と銀鏡反応の研究
2	2008	結城明姫	私立晃華学園高等学校	３年	水流中における空気柱の研究
		牧野美咲	筑波大学理工学群化学類	１年	アスピレーターによる簡易放電箱の製作
		中台文夫	千葉県立柏高等学校	教諭	ＩＳＥＦ見聞報告
		吉田昭彦	千葉県立船橋高等学校	教諭	
1	2007	吉田　翔	筑波大学生命環境学群	１年	粘菌の情報工学への応用
		下山せいら	筑波大学生命環境学群	１年	プラナリアの摂食機構
		宇田川信次	千葉県立千葉東高等学校	教諭	ＳＳＨその糸口から出口までの体験談